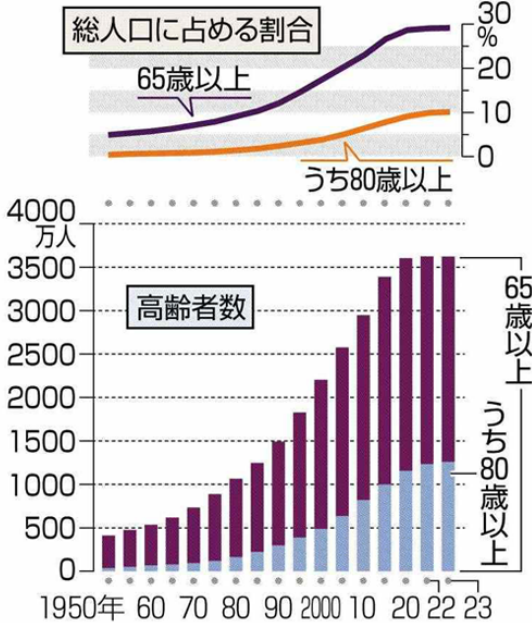




年 組 名前

高齢者数と総人口に占める割合の推移



※1950～2020年は国勢調査。22、23年は人口推計

80歳以上10%超え

人口推計 65歳以上初の減少

18日の敬老の日にな
み、総務省が17日公表した
人口推計によると、65歳以
上の高齢者は3623万人
だった。総人口に占める割
合は前年から0.1ポイント増の
29.1%で過去最高を更新
し、世界トップ。うち80歳
以上は27万人増の12.59
万人で、割合が10.1%と
初めて10%を超えた。単身
で暮らす人も多く、生活サ
ポートの充実が課題だ。15

日時点の推計。

65歳以上の人数は前年よ
り1万人減った。マイナス
は比較可能な1950年以
降初めて。過去1年間に、
新たに65歳に到達した世代
が少ないのが要因という。
中期的には増える見込み
で、国立社会保障・人口問
題研究所は2040年に3
928万人、総人口の34.
8%になると推計してい
る。

65歳以上の56.6%は女
性で2051万人。平均寿
命の長さを反映し、男性1
572万人を大きく上回っ
た。総人口に占める高齢者
の割合29.1%を各国と比
較すると、2位のイタリア
24.5%、3位のフィンラ
ンド23.6%に比べ突出し

ている。

75歳以上は72万人増の2
005万人で総人口の16.
1%を占めた。2千万人を
上回るのは初めて。194
7～49年生まれ第1次ベ
ビーブーム世代が75歳を迎
えているのが影響した。

高齢者の25.2%、91
2万人は、2022年に仕
事に就いていた。過去最多
で19年連続の増加。年齢層
別の就業率は65～69歳が5
0.8%、70～74歳が33.5
%で、いずれも過去最高と
なった。

就業者全体に占める高齢
者の割合は13.6%で経済
活動を支えている。就業先
は卸売業・小売業、サービ
ス業、医療・福祉の順で多
い。



年 組 名前

道新で ワークシート

① 「高齢者数と総人口に占める割合の推移」のグラフを見て、1960年と比べ、2023年の65歳以上の高齢者の人数は約何倍になっているか、次のア～エから選びなさい。

- ア. 約2倍
- イ. 約5倍
- ウ. 約7倍
- エ. 約10倍

② 少子高齢社会が進むとどのような費用が増加するか。書きなさい。

③ 少子高齢社会の中で今後課題となってくることは何か。
また、その課題について自分にできることは何かを考えて書きなさい。